（別記）

８年度新篠津村農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本村の農業は、耕作面積の約９４％を占める水田に主食用米を約４６％の面積に作付し、転作作物としては小麦・大豆などの基幹作物で約６５％の土地利用型農業を基本に担い手への農地集約が進んでいる。

今後は、主食用米の需要が減少している中で、転作水田を活用し水稲作付面積の維持・確保に取組んでいくと共に、担い手の減少が見込まれることから引き続き農地中間管理機構の事業を活用して担い手への農地集約を図る。

一方、１戸あたりの経営規模が拡大するなか、野菜・花卉の生産農家戸数は減少傾向にあるが、地域農業の持続的発展を維持していくためには、女性から高齢者まで幅広い世代の農業者の活躍が不可欠であることから、労働集約型である園芸作物や直売所を中心とした地産地消の推進など、多様な高収益作物の作付面積の拡大が必要となっている。

また、小麦・大豆については、近年、畑作物の連作や地力低下による減収が大きな問題となっていることから、土づくりと営農技術向上により増収を図るとともに、省力化に取り組む必要がある。

２　高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本村において収益性の高い水田農業経営への転換を図るため、産地交付金を活用しながら、主食用米と比較して面積当たりの所得が高い野菜等の高収益作物の作付拡大を図っているが、水田作に占める同作物の作付率は約７％と低い状況となっている。

今後、水田をフル活用しながら多様なニーズに対応した競争力のある農産物の計画的かつ安定的な生産・供給が可能な産地づくりを一層進めるとともに野菜等の高収益作物の導入などを推進する。

高収益作物の導入にあたり、需要が増加している野菜の安定生産や消費者のニーズに対応した多様な品目の作付、高品質で安定した生産による産地ブランド力の向上、地域農業の持続的発展を維持していくため収益力の向上による経営の安定化を進める。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

地域の実情に応じた作物の本作化や、計画的な農地の集約を図ろうとする場合は広く地域関係者とも調整しながら、必要な畑地化やブロックローテーションの体制構築等のため、関係機関が連携して支援内容の情報提供や地域の対応方針を進める。

なお、畑地化の取組を進めるにあたっては、「地域計画」に描かれた地域の将来像や担い手の農業経営改善計画など、効率的な土地利用に配慮する。

今後、畑作物を継続されている圃場を地図情報システム（ＧＩＳ）導入して管理を図る。

※別紙～ブロックローテーション

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米、備蓄米

高品質・良食味米の主産地として生産技術の向上を図り、生産の安定と実需者等のニーズを意識した米づくりの生産体制を推進するとともに、省力化、低コスト生産を推進する。

（２）非主食用米

飼料用米、新市場開拓用米、WCS 用稲、加工用米、米粉用米

主食用米の作付状況を勘案し、米生産力の維持・向上を図るため水張面積の確保に取り組むとともに、省力化、低コスト生産を推進する。

（３）麦、大豆、てん菜、飼料作物

水田転作の中心作物として、播種前契約を基本に田畑輪換の実施や圃場管理の徹底による安定生産と施設の効率的稼働による品質の均一化を図り実需のニーズに対応するとともに、省力化、低コスト生産を推進する。

（４）そば、なたね

実需者との契約に基づき現行の栽培面積を維持していくと共に、透排水性の向上を図り安定供給と高品質化を目指す。

（５）高収益作物（園芸作物等）

野菜については各作物の品質の向上にむけ、適正な栽培管理を徹底し高品質で安定した生産を目指すとともに、多品目の栽培を推進し直売所等の販売にも対応したい。

小豆については早期集荷による有利販売を目指し、輪作体系に取り入れる取組を支援する。

花卉については、地域特性を活かした高品質生産と低コスト生産に向けた基本技術の励行をし、産地としての地位を確保する。

（６）地力増進作物

農業生産の基礎である地力を増進し、農業の生産性を高めるため取組を支援する。

（対象作物別紙のとおり）

（７）耕畜連携

わら利用・資源循環等、実需者との契約に基づき栽培面積を維持する。

（８）二毛作

実需者との契約に基づき、栽培面積を維持していくと共に安定生産を目指す

『５　作物ごとの作付目標面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	2,225		2,232		2,050	
備蓄米	0		148		0	
飼料用米	33		21		135	
米粉用米	3		6		0	
新市場開拓用米	127		232		87	
WCS用稲	29		19		40	
加工用米	198		221		139	
麦	1,396		1,213		1,400	
大豆	510		457		590	
飼料作物						
・子実用とうもろこし	13		16		10	
そば	11	11	7	7	23	15
なたね						
地力増進作物	58		48		41	
高収益作物						
・野菜	150		145		167	
・花き・花木	2		2		16	
・果樹						
・その他の高収益作物	39		26		66	
その他						
・てん菜	1		2		2	
畑地化	0		0		0	

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	麦	自給率向上加算（麦）	反収 作付面積	（7年度）498kg （7年度）1,396ha	（8年度）550kg （8年度）1,400ha
2	大豆	自給率向上加算（大豆）	反収 作付面積	（7年度）309kg （7年度）510ha	（8年度）220kg （8年度）590ha
3	露地野菜	地域振興作物助成（露地野菜）	作付面積	（7年度）146ha	（8年度）167ha
4	施設野菜、花卉	地域振興作物助成（施設野菜・花卉）	作付面積	（7年度）6ha	（8年度）16ha
5	小豆	地域振興作物助成（小豆）	作付面積	（7年度）39ha	（8年度）66ha
6	麦、大豆、黒大豆、野菜	クリーン農産物作付加算	作付面積 取組面積	（7年度）2,056ha （7年度）153ha	（8年度）2,250ha （8年度）177ha
7	小麦	小麦耕種的防除加算	反収 作付面積 取組面積	（7年度）324kg （7年度）1,396ha （7年度）4ha	（8年度）545kg （8年度）1,245ha （8年度）30ha
8	地力増進作物	土づくり加算（地力）	作付面積	（7年度）58ha	（8年度）41ha
9	麦、大豆、黒大豆、野菜、花卉、小豆	土づくり加算（堆肥）	反収増加率 作付面積 取組面積	（7年度）101% （7年度）2,097ha （7年度）44ha	（8年度）103% （8年度）2,350ha （8年度）52ha
10	新市場開拓用米	新市場開拓用米取組拡大助成	作付面積	（7年度）127ha	（8年度）87ha
11	そば	そば作付助成（基幹）	作付面積 取組面積	（7年度）0ha （7年度）0ha	（8年度）8ha （8年度）8ha
12	そば	そば作付助成（二毛作）	反収 作付面積 取組面積	（7年度）22kg （7年度）11ha （7年度）11ha	（8年度）28kg （8年度）15ha （8年度）15ha
13	飼料用米	耕畜連携助成（わら利用）	作付面積 取組面積	（7年度）33ha （7年度）0ha	（8年度）135ha （8年度）7ha
14	ＷＣＳ用稲	耕畜連携助成（資源循環）	作付面積 取組面積	（7年度）29ha （7年度）18ha	（8年度）40ha （8年度）18ha
15	新市場開拓用米	複数年契約加算	作付面積 取組面積	（7年度）100ha （7年度）24ha	（8年度）45ha （8年度）20ha
16	てん菜	てん菜作付助成	作付面積	（7年度）1ha	（8年度）2ha

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：

協議会名：新篠津村農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	自給率向上加算（麦）	1	5,100	麦	病害虫防除の実施
2	自給率向上加算（大豆）	1	5,100	大豆	病害虫防除の実施
3	地域振興作物助成（露地野菜）	1	50,000	露地野菜	作付面積に応じて支援
4	地域振興作物助成（施設野菜・花卉）	1	55,000	施設野菜、花卉	作付面積に応じて支援
5	地域振興作物助成（小豆）	1	45,000	小豆	作付面積に応じて支援
6	クリーン農産物作付加算	1	5,000	麦、大豆、黒大豆、野菜	JAS有機、特別栽培、YCの取組面積に応じて支援
7	小麦耕種的防除加算	1	5,000	小麦	小麦連作圃場にちゃがらし播種、すき込みした圃場に支援
8	土づくり加算（地力）	1	20,000	※別表	作物の輪作として作付し、すき込みした圃場に支援（連作対象外）
9	土づくり加算（堆肥）	1	1,200	小麦、大豆、黒大豆、野菜（別表）、花卉（別表）、小豆	自家堆肥の散布
10	新市場開拓用米取組拡大助成	1	20,000	新市場開拓用米	作付面積に応じて支援
11	そば作付助成（基幹）	1	20,000	そば	作付面積に応じて支援
12	そば作付助成（二毛作）	2	7,900	そば	作付面積に応じて支援
13	耕畜連携助成（わら利用）	3	6,500	飼料用米	わらを畜産農家と連携した取組
14	耕畜連携助成（資源循環）	3	6,500	WCS用稲	WCS用稲を畜産農家と連携した取組
15	複数年契約加算（新市場開拓用米）	1	10,000	新市場開拓用米	3年以上の複数年契約を締結
16	てん菜作付助成	1	25,000	てん菜	直播栽培の実施に応じて支援

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。
※5　支援年限を記入してください。

別紙

	区分		
1	豆類		菜豆
2	(大豆･黒大豆を除く)		えんどう
3	野菜	野菜	アジウリ
4			アスパラガス（グリーン）
5			いちご
6			いんげん
7			
8			えだまめ
9			大麦（若葉収穫用に限る）
10			オクラ
11			かいわれだいこん
12			かぶ
13			かぼちゃ
14			カリフラワー
15			カンロ
16			菊菜
17			きのこ
18			キャベツ
19			きゅうり
20			こまつな
21			こんにゃく
22			ささげ
23			さつまいも
24			さといも
25			サニーレタス
26			さやいんげん
27			さやえんどう
28			サラダ菜
29			サンチュ
30			ししとう
31			しそ
32			しゅんぎく
33			じゃがいも
34			スイートコーン
35			すいか
36			ズッキーニ
37			スナップエンドウ
38			せり
39			セルリー
40			そらまめ
41			だいこん
42			たいな
43			たまねぎ
44			たらの芽
45			チコリ
46			ちんげんさい
47			テンダーポール
48			とうがらし
49			冬瓜
50			トマト
51			ながいも
52			なす
53			なた豆
54			軟白ねぎ
55			なんばん
56			にら
57			にんじん
58			にんにく
59			にんにくの芽
60			ねぎ
61			野沢菜
62			はくさい
63			パセリ
64			パプリカ
65			ピーマン
66			ブロッコリー
67			米なす
68			ほうれんそう
69			実えんどう(グリーンピース)
70			みずな
71			みつば
72			ミニかぼちゃ
73			なす
74			なた豆
75			ミニトマト
76			みょうが
77			メロン
78			モロヘイヤ
79			ヤーコン
80			大和芋
81			山わさび
82			ゆりね
83			ラディッシュ
84			リーフレタス
85			レタス
85			レッドキャベツ
86			れんこん
87			菜花
88			馬鈴薯

	区分			
89	花き・花	花き	アスター	
90			アリストロメリア	
91			アリッサム	
92			カーネーション	
93			ガーベラ	
94			カスミソウ	
95			かぼちゃ（観賞用）	
96			キク	
97			菊アスター(キク科)	
98			切葉類	
99			金風車(キク科)	
100			きんぎょそう	
101			グラジオラス	
102			クリスマスローズ	
103			グロリオーサ	
104			けいとう	
105			小菊	
106			コスモス	
107			サンダーソニア	
108			シクラメン	
109			宿根デージー	
110			スイートアリッサム	
111			スイートピー	
112			スイセン	
113			セダム	
114			ダリア	
115			チューリップ	
116			トルコギキョウ	
117			ナナカマド	
118			ニゲラ	
119			ネムリヒメ(アヤメ科)	
120			パンジー	
121			ヒマワリ	
122			ビオラ	
123			ヒメヒマワリ	
124			フリージア	
125			ホオズキ	
126			マーガレット	
127			マリーゴールド	
128			ユリ	
129			ラベンダー	
130			ローズマリー	
131			ミニシクラメン	
132			ネメシア	
133			バーベナ	
134			ベコニア	
135			ラナンキュラス	
136			サルビア	
137			アゲラタム	
138			インパチェンス	
139			オステオスペルマム	
140			ジニア	
141			コリウス	
142			クリサンセマム	
143			セローシア	
144	雑穀	雑穀	雑穀	さつまいも
145				子実用えん麦
146	地力増進	地力増進	地力増進	えん麦
147	作物	作物	作物	とうもろこし
148				ソルガム
149				イタリアンライグラス
150				ギニアグラス
151				スーダングラス
152				アカクローバー
153				アルサイククローバー
154				クリムソンクローバー
155				ベッチ類
156				ペルコ
157				カラシナ類
158				レバナ
159				はぜりそう
160				マリーゴールド
161				ひまわり
162				キガラシ
163				ステビア
164				ナタネ
165				ヘイオーツ
166				ライ麦
167	その他作	その他作	苗もの	野菜苗
168				果樹苗
169				苗木
			採種	いんげん
				えんどう
				採種用野菜
				パンジー
			香料作物	青シソ
				バジル
				ペパーミント
				ルッコラ